

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

怒りと認知機能の関連性 — 発達障害傾向の方の認知機能特性に着目して—

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月から2021年3月までに当院精神神経科を受診された方で、心理検査を受けた方のうち、以下の検査全てを受けている方の検査データを使用いたします。

【実施検査】

- ・ WAISIII（ウェクスラー式知能検査）
- ・ AQ
- ・ CAARS

【対象者】

- ・ 年齢は18歳以上の方
- ・ WAISIIIにおけるFIQ80以上の方

2. 研究目的・方法

怒りの機序については、基本的には[A. 出来事]→[B. 評価]→[C. 反応]として怒りが生じるストレス反応理論があります。その[B. 評価]に注目し、認知（考え方・捉え方）を再評価する方法が、怒りの制御法（アンガーマネジメント）として現在主流となっています。このように元来、怒りの機序は、個人の認知（考え方・捉え方）が重視されてきましたが、その認知を生じさせる“物事の理解力”つまりは神経心理学的認知機能（以下、認知機能）との関連性は、実態が明らかになっていない現状です。

そこで本研究において、「特定の認知機能の偏りと易怒性には関連性がある」と仮説を立て、認知機能間に凸凹が多くみられる発達障害の方の心理検査データを解析して検証を試みたいと思っております。

本研究は、文部科学省科学研究費に基づき行う臨床研究です。

研究期間

2020年4月1日～2021年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・心理検査結果（WAISIII, AQ, CAARSの各項目の検査数値）を使用いたします。
氏名, ID, 生年月日等の個人情報を使用いたしません。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院附属東病院精神神経科 氏名：對馬 早希子 (心理員)

住所：東京都品川区西中延 2-14-19 電話番号：03-3784-8354

研究責任者：對馬 早希子